

安芸高田市民モニター 集約結果

第5回

投票率の向上について 調査結果報告書

集計に当たっての注意

- 調査結果の数値は、原則として回答率（％）で表わし、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表記しています。これに伴い、「単数回答」の合計値が100.0%前後を増減する場合があります。
また、一人の回答者が2つ以上の回答をしてもよい設問「複数回答」では、回答率は100.0%を上回る場合もあります。
- 本文やグラフ、数表上の選択肢標記は、場合によっては語句を簡略化します。
- 文中の【n】「有効回答者数」、【SA】「単数回答」、【MA】複数回答を表しています。

調査実施期間

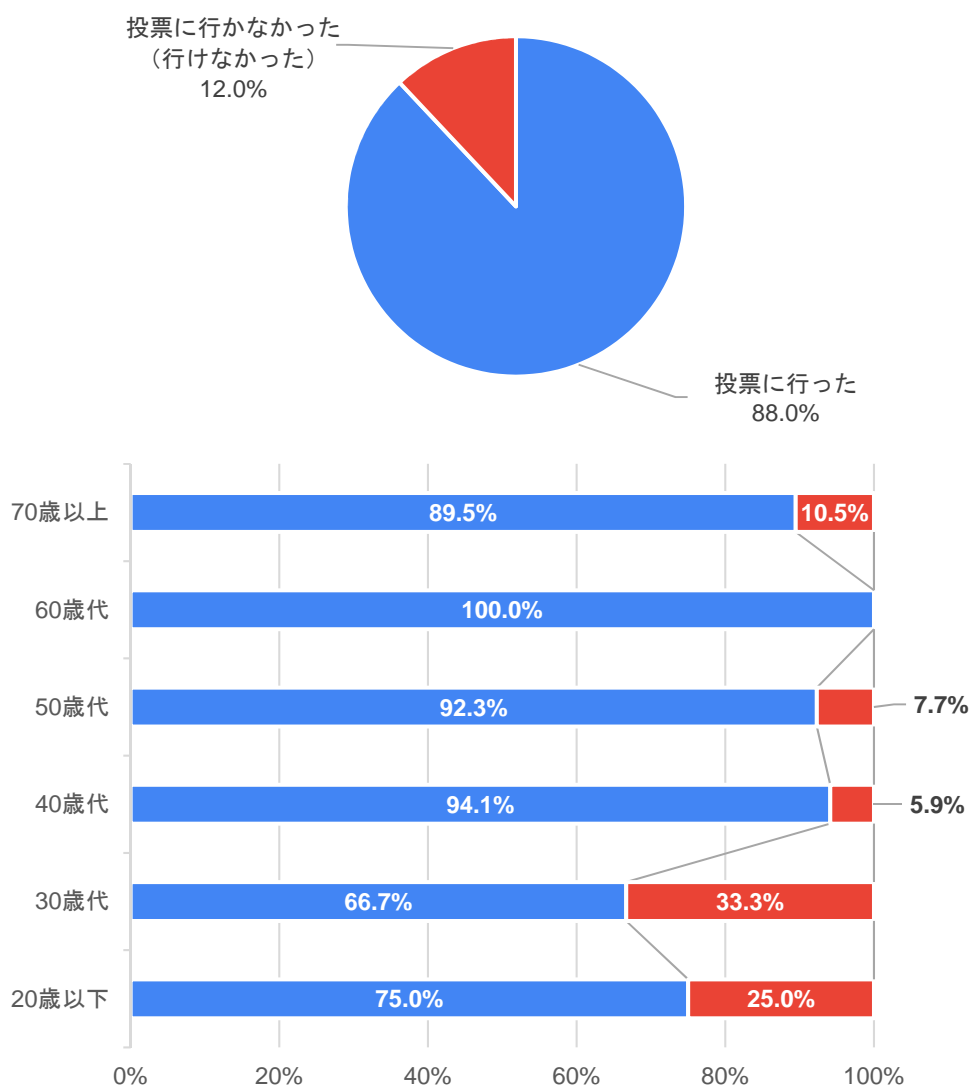
令和4年1月28日（金） ～ 令和4年2月8日（火）

モニター回答者数【n】

性別	全体数	回答者数	割合
男性	66	32	48.5%
女性	65	34	52.3%
合計	131	66	50.4%

【問1】 昨年10月の衆議院議員総選挙は投票した？ 【SA】

全体の「投票に行った」と回答した割合は、9割弱と高い割合である。
しかし、これを年代別で見た場合、「投票に行かなかった（行けなかった）」人のほとんどは30歳代以下が占めている。



【問2】 「投票に行かなかった（行けなかった）」理由 は？【MA】

「問1」で「投票に行かなかった（行けなかった）」と回答した方に、その理由を伺った。回答は以下のとおり。

投票したい候補者（政党）がないから。

投票しても意味がないから。

仕事などで忙しいから。

投票所が遠いから。

政治に興味がないから。

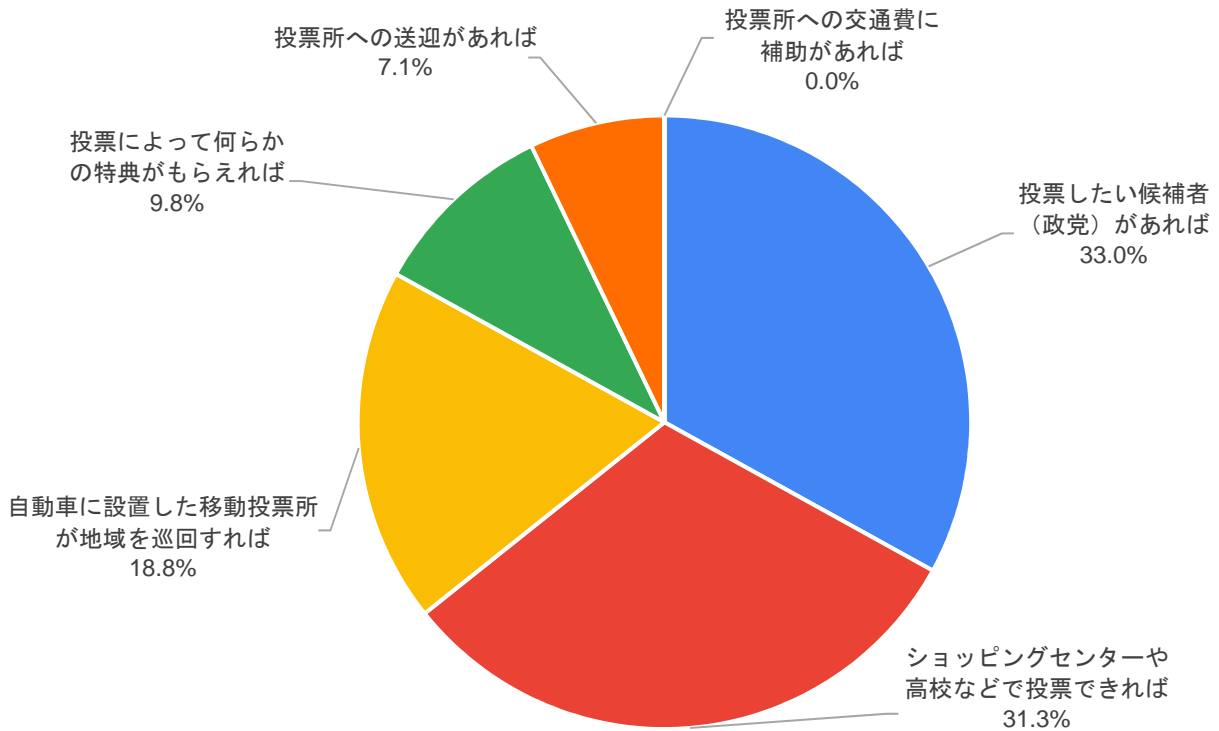
政治がよくわからないから。

入院中だった。

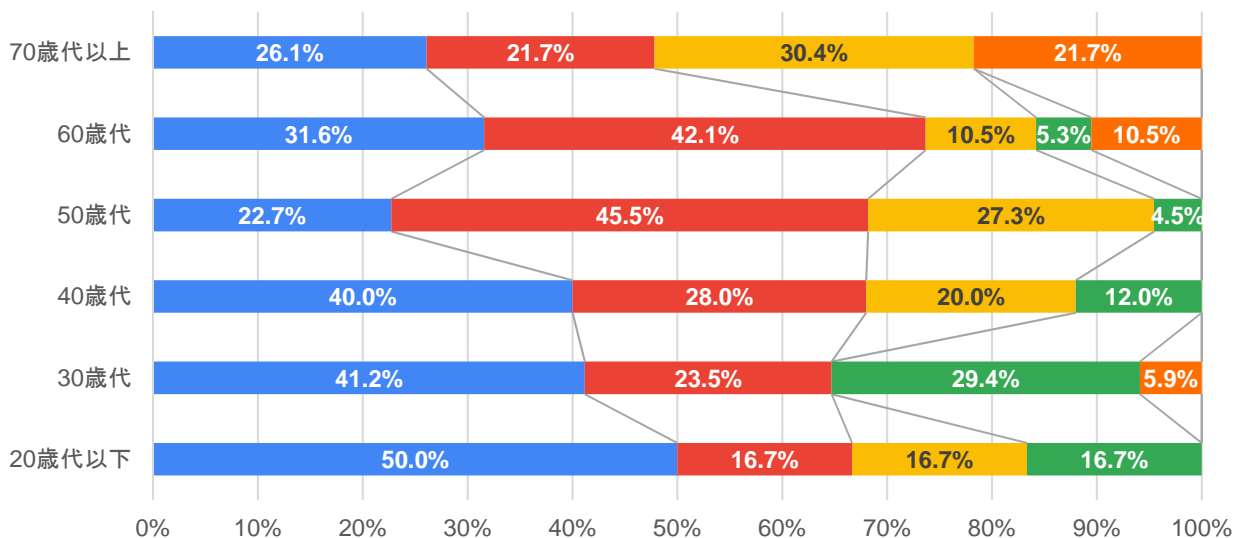
健康状態の不良。

【問3】 どうすれば投票に行く？【MA】

どうなれば「投票に行こう」と思えるか伺ったところ、「投票したい候補者（政党）があれば」「ショッピングセンターや高校などで投票できれば」が約3割と多かった。



回答ごとの割合を年代別にみると「若年層の政治への関心」「高齢者の移動手段」が課題であることが推測される。



「問3」のその他の意見は以下のとおり。

選挙候補者がこれまでの選挙公約は何で、そのうちのどれだけを達成したか、全立候補者分が一覧で分かっていたら。

あきらめることなく丁寧に進化させた広報を進める。

政治にもっと希望が持てると感じられれば投票に行くと思う。

誰が議員になっても同じだという思いを払拭させるような政治が始まれば投票率は上がると思う。

現状投票に「ショッピングセンターや高校などで投票できれば」をプラスしたらいいと思う。

市長や議員が、パフォーマンスではなく、真に市や市民のために活動する姿を見せてくれれば...

政治の大切さ、政治によって何が変わるのかを分かりやすく教えていく必要があると思う。

若者になじみのある小学校、中学校を投票所にする。期日前投票所の数を増やす。

事前投票で理由を書くのは、気おくれがする。身分が分かれば良しとすると投票しやすい。

ネット投票や郵便投票など投票所に行かなくてもよい投票制度に変わればもっと投票率は上がると思う。

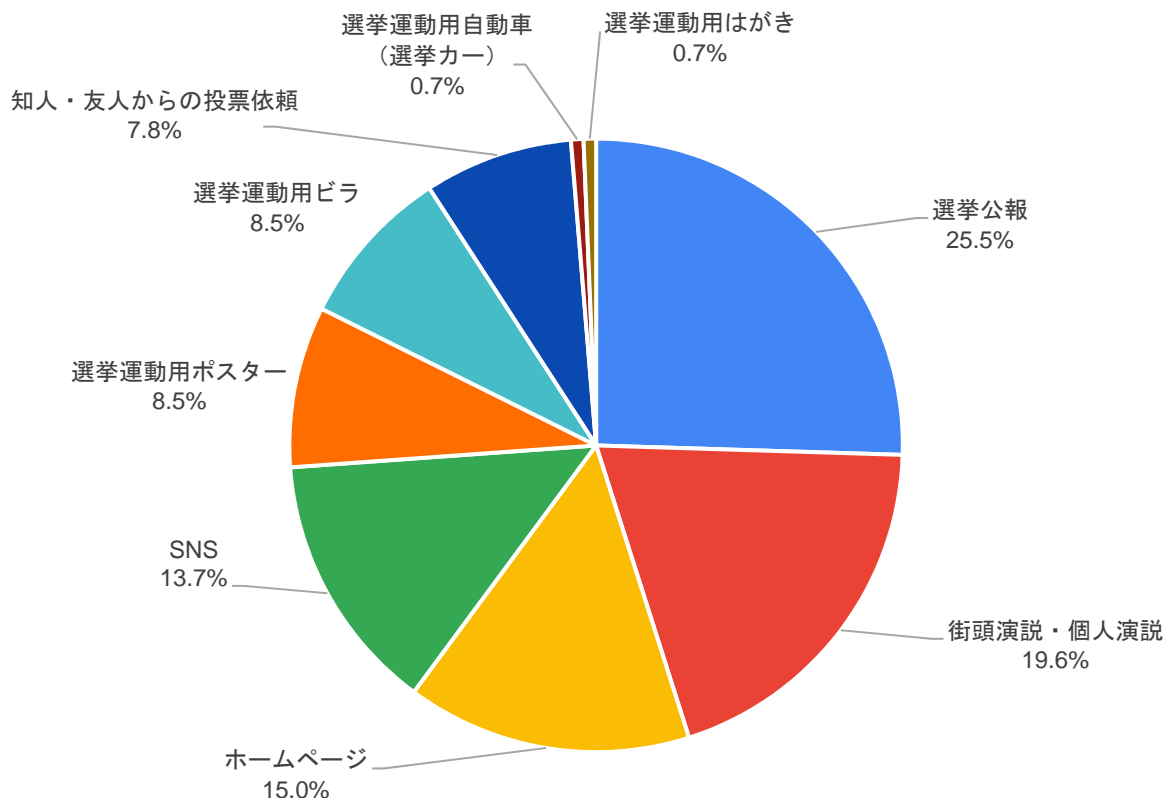
行政に関心（行政説明会など・報道）→候補者→投票

選挙の知識を深める。大切さが分かれば、みんなが選挙に行き意見が分からないと国や町が変わらない。

少子高齢化が極度に進み、医療技術の進歩と合わせて寿命が延びていくばかり。高齢者は若者の重荷になっている状態を申し訳なく思われている。このことを思う時高齢者の心のケアについても策を講じていただきたい。高齢者には政治によってより良き将来を夢見る心のゆとりは伺えない。良作を願う。

【問4】投票の参考になる候補者情報は？【MA】

候補者に関する情報のうち、特に投票の参考となるものは「選挙公報」「街頭演説・個人演説」など、候補者情報を聞くまたは見ることができるものが上位を占める。



その他の意見は以下のとおり。

HPやSNSを見てみようと思うが、そこまで至らないことが多い。

候補者の自己PR動画配信と視聴者と質疑応答。

特に無い。その時々雰囲気決めて。

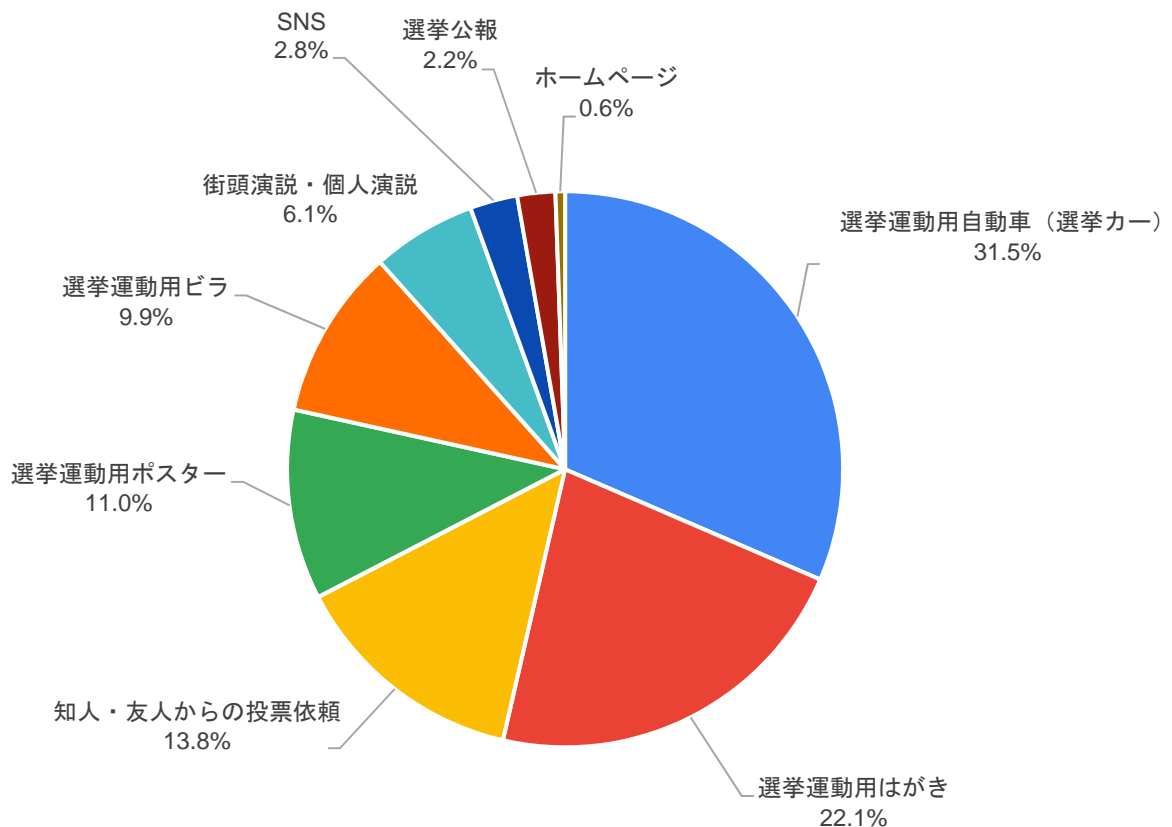
新聞、テレビによる候補者の考え方など情報。

人柄と候補者のやる気。

広島3区においては膨大な選挙違反が行われ、買収者・被買収者等、日々このニュースばかりで、特に選挙そのものをクリーンにしていけないと選挙の新鮮味がなく、「選挙」と聞くと候補者が汚いことをする人・また違反を犯すのかと想像し、魅力を感じない。

【問5】 反対に投票の参考にならないと思うものは？ 【MA】

「問4」とは逆に、候補者に関する情報のうち、特に投票の参考とならないものは「選挙運動用自動車（選挙カー）」「選挙運動用はがき」など、候補者情報が伝わりにくいと考えられる。



その他の意見は以下のとおり。

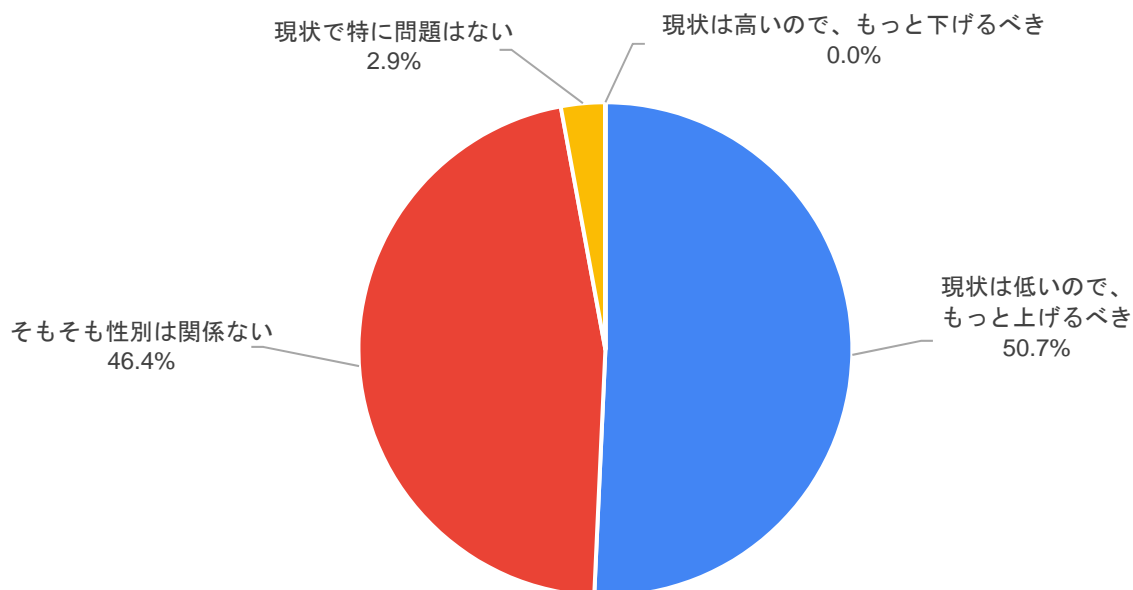
どれもこれも外面ばかり。あまり参考にしてない。なのでその時々雰囲気決める。

友達・知人などの紹介は役に立たない。その候補者の人柄・日常を知ること。

【問6】 国会議員に占める女性の割合をどう感じる？

【SA】

国会議員に占める女性の割合は、14.4%となっている。この割合については、「現状は低いので、もっと上げるべき」と感じている人が約5割を占め、現状の割合のままでは問題があると認識している人が多い。また「そもそも性別は関係ない」という意見も多く、国会議員自体に性別は関係ないということが年代、性別問わず広く認識されていることがうかがえる。



その他の意見は以下のとおり。

女性にとって自分が国会で働いている想像をしにくいんだと思う。

比率が世界においても低いのはもちろん問題だが、それ以前に女性が議員になるためのハードルがあまりにも高すぎる。根本が変わらなければ数字だけ追い求めても良い社会にはならない。

女性の割合は増えた方がいいと思う。それは機会の平等から来るものだと思う。結果の平等だけを見てはいけない。

女性が出れる社会機運の醸成が追い付いていない。

合併前、男女共同参画に関する条例策定会議に要請を受けて参加した時、「女性30%を目標に…」と発言したら、司令者（企画室長）も連合女性代表はじめ、誰も反応しなかった。まず、女性が意識を改革する必要がある。

女性は別にして定員を作るようにする。

性別として特に感じないが、すべてはその人の議員としての責務を自覚している人、やるべきこともしないのに、一律の事務通信費を一律に支給することは納得しない。

【問7】 選挙についての問題や、改善したほうが良い点など

選挙について、問題だと思っていることや改善したほうが良いと思っていることなどを伺った。回答は以下のとおり。

選挙カーの頻度を検討してほしい（公共施設の駐車場に限定したり、回数を検討してほしい）

今はコロナで、オンラインでお客様とお話をする業務や動画収録をしているので、そういうときに選挙カーが通るたびに、演説音が入ってしまって、動画収録のときは毎回初めからとりなおしている。

投票率向上のためにオンライン投票をやっても良いと思う。

安芸高田市からくる選挙の入場券に期日前投票がいつからどこで何時から何時までできるのか書いていないのでいつもHPなどで調べている。記載があるといい。また期日前投票の宣誓書を入場券に印刷してあれば事前にかける。

候補者全員の想いと、党の今までの動きや今後の動き等を一つの用紙かデジタルで一括で見れるようにして欲しい。政治の動きが候補者だけの想いでは、伝わらない。政治に興味がない人は、自分で調べてまで投票に行かない。

若い候補者が少なく、若者の意見を市政に反映してくれる人がいない。期日前だけでなく選挙当日もクリスタルアージュで投票できるようにしてほしい。

期日前投票の期間が長すぎる。経費の使いすぎ。

ポスターが無い人がいるので、わからない。

電話で投票依頼されること。

街頭演説等そこにはいないと聞けないので候補者全員の選挙公約等、平等にYouTube等で配信してほしい。後援会の加入を頼まれて加入すると電話や、ハガキが送られてくる。やめてほしい。そもそも後援会への勧誘を辞めてほしい。

当選したらその後は有権者に向き合うよりも自分本位の動きを行っていても是正する手段が少ないこと。

投票に行かず政治や行政に文句ばかり言っている、既に選挙権のある大人の意識をどう改革していくかが一番の問題かもしれない。そんな大人を見ている子どもが、自分が選挙権を得たタイミングで行こうと思うはずがない。そこは、自分の一票の重さをしっかりと教育現場で教えるべき。英語やパソコンの学習も大切だが、小学校や中学校の義務教育で選挙について学び興味を持つ時間を作り、自分がいる日本の事や政治、お金や税の事をしっかりと学ぶべきだと、私は自分が大人になって感じた。

事前投票で、理由を書かなくても身分が分かる程度にしたら、もっと投票しやすい。

現職議員・市長が出馬するときに参考にできる情報が少ない。説明責任を果たしたか、在職中にどのような議案に賛成して反対したのかなど、いつでも議会議録や会議中継動画がネットで見られる環境が欲しい。また、選挙だけが政治にかかわる行動ではなく、生活のいろいろなことが政治につながっていて、市民が議会や市政に対してできる活動を知るなど、主権者教育が必要だと考える。今は自分の思想を省みる機会もほとんどないが、本来なら、自分の思想を見直し、近い立候補者を選ぶのが選挙であってほしい。投票率の低下根幹には、時間と収入に余裕がないことがあるのではないだろうか。

投票率を問題にすること自体が問題。投票率が上がれば、住民の政治に対する意識レベルが上がるわけではない。行きたい人が行けばよいと思う。

政党ではなく本人のビジョンを重視したい気持ちもあるが政党（組織の力）があって実現できることも多い。組織の力を重視しなくてもいい仕組み??があると様子が変わるだろうと思う。

「町から一人は出そう」「知り合いだから・引越した人の後任だから、投票しよう！」という、地縁・血縁型の古い選挙はやめるべき。選挙民一人一人が自覚したい。また、投票に行く人は、投票に行く大人がいる家庭で育っていることが多い。とすると、行政が有権者に呼びかけるだけでなく、義務教育の中でも取り上げて、幼いころから選挙に対する意識を養うべき。立候補者の公約をもとに票を投じる人を決めるべきだとは思いますが、選挙公約が届くのが投票日直前なので、期日前投票に間に合わないのは改善してほしい。（法律や規則で決まっているのならすぐにできないかもしれないが）

【問7】 選挙についての問題や、改善したほうが良い点など

誰に入れたか分かるという嘘。選挙運動用自動車での連呼。選挙のルールを知らなすぎる民衆、伝えきれていない選挙管理委員会や国や仕組みなど。選挙や政党などに関する授業や教わる仕組みがあまりにも品祖、選挙に関する法律があまりにも古すぎて時代からかけ離れている部分が目立つ。選挙違反といえどそもそもグレーな部分で放置してきた国や組織。日本は平和な国なのでそもそも選挙に関心が無くて当然だと思し、若者の表を複数倍または1票を2票分とかにしたところで高齢化社会の中ではほとんど意味をなさないのが現実で、それで投票しても無駄と考えるもおかしくない。政見放送のように、動画にして候補者の主張を何度でも聞けるような仕組みを取り入れてほしい。女性議員の少なさ。

ポスター掲示板不要である。設置撤去200ヶ所として300~400万は必要かと思うが、いかに。選挙の実態、特に市長・市議に関しては、その地区、帳の代表色が強く、そうでない人は独自に票集めをするのが選挙であろう。国会議員に関しては、各個人が現況通りやれば良いこと。顔ポスターが必要なものは、同時に国会議員と同じように自分でやれば良し。投票率の悪さの原因は、候補者が住民に対して現況説明。今後はこのように行くと具体的な説明等を行い、不足点はこのようにするとか、住民の声を聞く対話の機会がない現実。そのことが投票に行っても変わらないとの思いで無関心選挙になっている。

選挙カーなどについてうさいととは思わず、こんな人口の少ない僻地へもよく来てくださったと感謝しています。来てくれないと寂しさを感じます。親類は別として知人・友人から薦められての候補者選びはしないこととしている。私が投票立会人としていつも心掛けていることは、投票義務を全うされた人に対し、尊敬の言葉をかけるように心がけています。（ご苦労様です。気を付けてお帰りください。）等。投票所があまりにも無言でジロジロ見て冷たい感じは良くないので、心を込めてあいさつははっきりとするようにしています。

もう少し我々に耳を貸す内容で話をしてほしい。「お願いします」の連呼では犬の遠吠えに見えて心に通りません。安芸高田市でも問題のある方が出て当選する状態です。投票される方の気持ちがわかりません。

【問8】安芸高田市民モニター全般に対して

モニターで集めたデータを生かし、市政に役立てていただきたい。
アンケートを通して、意見を伝えられるのは良いことだと思うが、結果を生かして欲しい。
これからも、良い街創りのために、良いアンケートを作ってほしい。
もっとたくさんの配信を期待していた。来年度もぜひ参加したい。
せっかくのモニターなので、もっと踏み込んだ質問でもかまわない。
義務で仕方なくやっているように感じられ熱意が感じられない。反省してほしい。
市民モニターに、お礼の品はいらないと思う。
市政や市の活動に対してまた市の問題点など、具体的な内容のアンケートがあってもよいと思う。
うちにも80代の年寄りがいるが、国政選挙の時は自分1人の票くらい関係ないと思うのか、誘っても行かなかった。県議や市議の時は行く。年寄りが生きたくするような特典があると良いと思う。ちなみに今回、たかたんのカードもらったが、あれは要らない。経費の無駄。
安芸高田市議会は市民の為に運営できているのか？高齢議員の勉強不足と田舎特有の閉鎖的思考が目立つように思う。是々非々の意味が分かっておられないのでは？軽々しく市民の代表だと胸を張ってほしくない。安芸高田市の未来を案じる。
田んぼアート予定地の公園化の案や使い方について。中学校合併問題。
広く、市民の意見を求められることは大切。引き続き要望する。
行政（市政・議会）に関する問題等を引き出せることを望む。
市政に対して、意見交換があると思っていた。
市のSNSについて（LINE、Twitter、YouTubeなど） →まずはSNS全般についてアンケート →次にYouTubeチャンネル（安芸高田市放送局でも）活用についてなど絞ったアンケートのように分けたらどうか。 ○特にYouTubeについては、市の広報チャンネルとして活用してほしい。 ※それぞれすべてを紹介する完全版もよいですが、イベントなどへの参加を促すような広報的なものも両方あるといい。
コロナ禍で、子育て支援課がされている「オンラインおしゃべり広場」に参加できて、非常にありがたいと思っている。
○現在9か月の子がいる。オンラインおしゃべり広場への取り組みは非常に素晴らしいと思う。ぜひ広く周知してもらい、子育て世帯の助けになるので、自信を持って取り組んでほしい。
○市のホームページのリニューアルについて 石丸市長になり、発信の回数、情報の量ともに増えて非常に良いことだが、現行のものでは非常に見づらい。（更新が速すぎて見つけにくくなっている）アンケートしてみるのもよいと思う。
○この市民モニターアンケートは非常に良いと思う。が、市民モニターの絶対数をもっと増やせないかと思う。

【問 8】 安芸高田市民モニター全般に対して

安芸高田市政において、新市長とベテラン市議会議員の間でスムーズな市議会が行われていないことを危惧している。これまでの慣例により続けられた市政の中でメスを入れなければならないこともたいへんあると推察できる。しかし、古い議員ではそれを改革するのに自分たちの失策（恥）と考えず、改革についてももう少しよく話し合っ明かりの見える将来像を築き上げてほしい。それでなければこれまで議員として選出して期待した明るい街づくりは感じられない。内紛ばかりの市議会では傍聴も意味がない。市議会にもっと活気のあるものにしてほしい。決議に「異議なし」、、、との小さな声に失望を覚える。

市長、議員も市民のために選ばれた人。対立して市民は不満に思っている。現在の状態の調査の必要がある。モニター調査にしてみしてほしい。全国的にも3年前くらいから悪いニュースで取り上げられている。残念。

物を言わない市民が増えることは、地域ニーズを把握し、的確な姿勢を推進する上では大きなダメージになると考える。結果、行政不信、地域活動の活性化にも大きく影響すると考えられる。モニター制度は少しでも役立ち反映できるのでは。